

## 施策評価調書(24年度実績)

施策コード I-5-(4)

政策体系	施策名	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	51
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、土木建築部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	地域における環境保全活動の促進	環境教育・学習の推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	ごみゼロ行動参加者数(人/年)	①	H16 117,419	302,500	352,201	116.4%	335,000	400,000						
ii	夏の夜の大作戦(キャンドルナイト)への参加施設数(施設)	①	H16 475	2,695	2,709	100.5%	2,730	2,800						
iii	レジ袋削減枚数(万枚/年)	①	H21 7,855	9,420	8,756	93.0%	9,540	9,780						
iv	環境教育アドバイザー派遣団体数(団体/年)	②	H16 36	82	82	100.0%	88	100						

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	達成 事業所やボランティア団体の活動が増加しており、県民総参加の活動として着実に広がりを見せている。	達成
ii	達成 地域独自の関連イベントが増加するとともに、着実に参加施設が増加しており、省エネ・省資源に対する意識の高揚につながっている。	
iii	概ね達成 目標にはやや届かなかったが、レジ袋無料配布中止の取組開始から毎年度、着実にレジ袋の削減は進んでおり、H25.1月に協定参加事業者、消費者団体等、市町村、県をメンバーとする大分県レジ袋削減推進協議会を立ち上げ、協働でレジ袋削減に係る取組を進めている。	
iv	達成 学校や社会福祉施設など各種団体等への環境教育アドバイザー派遣は23年度より12団体増え、県民への環境保全意識の高揚が図られた。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・身近な環境保全活動に取り組むごみゼロ隊が平成23年度から17団体増え、平成24年度末で1,911団体登録し、地域や事業所単位で活動している。
②	・幼児・児童向け環境劇を実施する取組では、公園先の保育所や幼稚園等からの要望も多く、県民の環境保全意識の醸成や高揚が図られてきている。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	ごみゼロおおいた作戦推進事業	29,620	継続	97
	道路愛護ボランティアサポート事業	17,162	終了	209
	きれいな川づくり推進事業	10,795	終了	210
②	地域環境保全協働推進事業	25,152	終了	98

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○ごみゼロおおいた作戦県民会議(H24.10.16)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や若い親などの若い人に環境への関心を高めて環境美化に取り組んでもらうような取組が必要。</li> <li>・ゴミを出さないための運動を浸透させるべき。</li> <li>・一般市民に向けた広報にもっと力を入れるべき。</li> </ul>	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの県民がごみゼロおおいた作戦へ関心を持ち、日常生活で環境保全活動を実践するよう啓発や関連イベントの強化、ごみゼロ隊の活性化等を図る。</li> <li>・レジ袋の削減については、現状の削減状況を保ちつつも、一層の削減の強化を図る。</li> <li>・幼い頃から環境に関心を持ち、環境保全活動を実践する人材を養成するため、環境教育の拡充を図る。</li> </ul>